

## 第1回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年6月6日（水）13:20～14:50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）：82名（内部（本学学生）：19名、内部（教職員）：2名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）：61名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 伊藤哲朗東京大学客員教授、元内閣危機管理監
  - ・演題 危機管理の心構え

### 5. 成果：

伊藤哲朗先生に、阪神・淡路大震災や東日本大震災・福島原子力発電所事故の教訓、危機管理に当たる者の歴史観・国家観・心構え、危機管理の根底となる考え方等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである伊藤哲朗先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



## 第2回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年6月13日（水）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）：78名（内部（本学学生）：17名、内部（教職員）4名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）：57名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 岩田孝仁静岡大学防災総合センター長・教授、元静岡県危機管理監
  - ・演題 南海トラフ地震にどう向き合うか

### 5. 成果：

防災・危機管理行政に35年間携わってこられた岩田孝仁先生に、阪神・淡路大震災や東日本大震災、ネパール地震、熊本地震等の教訓を踏まえ、南海トラフ地震への対応、減災でなく防災との考え方、まれにしか遭遇しない災害への心構え、防災教育の重要性等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである岩田孝仁先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



### 第3回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年6月20日（水）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）：70名（内部（本学学生）：15名、内部（教職員）：3名、外部（防災関係機関 職員など防災・危機管理に関心のある者）：52名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田 文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 鍵屋 一跡見学園女子大学教授
  - ・演題 地域防災力の要

#### 5. 成果：

鍵屋 一先生に、高齢化の進展、単身世帯の増加、行政職員や消防団員の減少等防災力が弱体化している現状を踏まえ、近助力の強化や福祉防災計画・地区防災計画の活用、魅力増進型の防災の重要性等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである鍵屋 一先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



## 第4回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年7月11日（水）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）： 52名（内部（本学学生）：14名、内部（教職員）：2名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）： 36名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 小滝 晃 国土舘大学 防災・救急救助総合研究所 客員教授
  - ・演題 災害緊急事態条項の日本国憲法におけるあり方

### 5. 成果：

東日本大震災発生当時、内閣府（防災担当）総括参事官として、わが国初の緊急災害対策本部の運営に当たり、緊急予算執行や国会への対応等貴重な経験をされた小滝 晃先生に、東日本大震災の初動・応急対応を踏まえ、我が国が直面する巨大災害を念頭におき、日本国憲法における巨大災害から国民を守るための特別ルール「災害緊急事態条項」の導入に関する具体的論点を考察した研究論文（武田文男本学教授との共著）について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである小滝 晃先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



## 第5回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年7月18日（水）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）： 49名（内部（本学学生）：15名、内部（教職員）：2名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）： 32名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 折木良一 元防衛省統合幕僚長
  - ・演題 自衛隊と危機管理
5. 成果：

東日本大震災発生当時、自衛隊のトップである防衛省統合幕僚長として災害派遣の指揮をとられるなど、これまで多くの危機に対応されてこられた折木良一先生に、危機管理の実働組織としての自衛隊の経験を踏まえ、「組織力と現場力」「エリートパニックと組織パニック」「自分を知り、相手を知ること」「疲労管理と自信」「リーダーの重要性」等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである折木良一先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター





## 第6回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年9月5日（水）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）： 47名（内部（本学学生）： 11名、内部（教職員）：0名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）： 36名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 西川智 名古屋大学減災連携研究センター教授
  - ・演題 世界の防災の変遷
5. 成果：

内閣府や国連で防災政策に携わってこられた西川智先生に、被災後の援助が主だった国際社会において、災害を未然に防ぐ「国際防災協力」の主流化に貢献した日本の防災制度・防災文化の役割、国際交渉の経緯、現在世界各地に輸出されている我が国防災の取組み、持続可能な開発目標 SDGs と防災等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである西川智先生が持つておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



## 第7回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年9月12日（水）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）：46名（内部（本学学生・教職員）：15名、外部（教職員）：0名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）：31名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 室田哲男 前広島市副市長、元消防庁国民保護・防災部長
  - ・演題 頻発する広島土砂災害への対応と課題

### 5. 成果：

広島市や消防庁で防災政策に携わってこられた室田哲男先生に、平成11年、26年、30年と頻発する広島土砂災害について、被災地域の地質や気象、広島市の初動対応や市民への情報伝達の状況、避難勧告を発令するにあたっての判断基準等を振り返り、防災上の課題と広島市の対応について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである室田哲男先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



## 第8回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年9月13日（木）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）： 35名（内部（本学学生）： 12名、内部（教職員）：1名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）： 22名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 青山侑（やすし）元東京都副知事、明治大学名誉教授
  - ・演題 関東大震災を振り返る－後藤新平と震災復興を中心に－
5. 成果：

東京都や明治大学で防災・危機管理政策に携わり、また、後藤新平研究の第一人者である青山侑先生に、95年前に発生した関東大震災から東京を強いリーダーシップで復興へ導いた政治家後藤新平と、後藤が助言を求めた米国の政治学者チャールズ・A・ビーアド博士、そして、震災復興・戦災復興を経て現在まで続いている東京都の都市計画の基本構造等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである青山侑先生が持つておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター





## 第9回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年9月19日（水）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室M
3. 参加者（人数）： 53名（内部（本学学生）： 13名、内部（教職員）：0名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）： 40名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 神達岳志 茨城県常総市長
  - ・演題 防災先進都市を目指して～関東・東北豪雨災害を教訓とした防災・減災の取り組み～

### 5. 成果：

2015年9月に発生した鬼怒川氾濫により甚大な被害を受けた茨城県常総市の市長（被災当時は県議会議員）である神達岳志先生に、その後3年間に常総市が実施してきた課題の洗出し、委員会の設置、市役所の機構改革、企業等団体との災害時協力関係の樹立、防災士の育成、ハザードマップや防災アプリの整備、タイムラインの普及など、防災先進都市を目指した取り組みについて講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである神達岳志先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



## 第10回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：平成30年9月27日（木）13：20～14：50
2. 場所：政策研究大学院大学講義室L
3. 参加者（人数）： 38名（内部（本学学生）： 13名、内部（教職員）：0名、外部（防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者）： 25名）
4. 内容：
  - ・挨拶、司会進行 武田文男本学教授、防災・危機管理コースディレクター
  - ・講師 奈良由美子 放送大学教授
  - ・演題 レジリエンスとは何か

### 5. 成果：

リスクマネジメント・リスクコミュニケーションの専門家である奈良由美子先生に、時代や社会によって変遷する災害対応のパラダイムの中で近年キーワードとして着目されている「レジリエンス」（復元力、回復力、危機や逆境に対応して柔軟に生き抜く力）について、その考え方、レジリエントな社会を構築するための国内外の取組み、今後の課題等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである奈良由美子先生が持つおられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。

（企画・運営担当教員） 武田 文男

教授、防災・危機管理コース ディレクター



## 平成30年度防災連続セミナー総括

政策研究大学院大学においては、平成24年度に防災・復興・危機管理プログラムが開設され、また、平成28年度からは公共政策プログラム 防災・危機管理コースと名称を改め、新たな研究教育に取り組んでいるところである。

この取組みの一環として、平成30年度防災連続セミナー（防災・危機管理に係る連続セミナー）を実施することとしたところである。

本セミナーは、本学政策研究センター長期学術会議支援事業に位置付けられ、「災害・危機への取組みと課題」の共通テーマのもと、年間10回にわたり開催された。

防災・危機管理政策の立案にあたっては、様々な機関や実務家、専門家等による取組みの実態を踏まえることが重要であり、各種災害や危機に対応するために取り組んでおられるキーパーソンの方々に講師をお願いした。

セミナーの実施に当たっては、各講師がいま最も精力的に取り組んでおられる事柄を主題にお話しいただくとともに、参加者との質疑応答を通じ、取組みの現状や問題点、今後の課題等について共有することができるよう努めたところである。

各回とも、防災・危機管理コースの学生をはじめ、本学の学生・教員、防災関係機関の職員、防災に関心を持つ方々など多くの皆様に参加いただき、開かれた、活気あふれたセミナーとすることができた。

ここに、幅広い分野における各種災害や危機に対する教訓や課題等が凝縮した防災連続セミナーの議事概要、資料等を整理し、報告書として取りまとめるものである。

本報告書が防災・危機管理に係る政策研究の推進に寄与することができれば誠に幸いである。

結びに、各講師の方々をはじめ関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げる次第である。

平成31年3月

国立大学法人 政策研究大学院大学  
防災・危機管理コース ディレクター  
武田 文男